



2017年4月25日

各 位

株 式 会 社 I H I  
 東京都江東区豊洲三丁目1番1号  
 代表取締役社長 満岡 次郎  
 (コード番号 7013)  
 問合せ先 執行役員 財務部長 山田 剛志  
 T E L 0 3 - 6 2 0 4 - 7 0 6 5

### 2017年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2017年2月1日に公表しました2017年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2017年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2017年2月1日発表)	1,500,000	38,000	18,000	0	0.00円
今回修正予想 (B)	1,490,000	46,000	20,000	5,000	3.24円
増減額 (B-A)	△10,000	8,000	2,000	5,000	—
増減率 (%)	△0.7	21.1	11.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (2016年3月期)	1,539,388	22,048	9,716	1,529	0.99円

#### 2. 業績予想修正の理由

売上高は、資源・エネルギー・環境などで減少したため、前回発表予想に対して減収となる見込みです。

損益面では、資源・エネルギー・環境の一部事業の採算悪化はありますが、シールド、車両過給機、民間向け航空エンジンでの採算改善や販管費の削減などにより、営業利益段階では前回発表予想に対して80億円増益の460億円となる見込みです。

一方、経常利益段階では、持分法投資損益の悪化、その他営業外費用の増加などにより営業外損益が悪化し、前回発表予想に対して20億円増益の200億円にとどまる見込みです。

また、本日公表の「事業構造改革費用及び和解関連費用の特別損失計上に関するお知らせ」のとおり、F-LNG・海洋構造物事業に係わる事業構造改革費用及び納入済みボイラ設備に係る和解関連費用を特別損失に計上することとしましたが、2017年2月27日付け「固定資産の譲渡に関するお知らせ」のとおり、固定資産売却益を特別利益に計上したことなどで、親会社株主に帰属する当期純利益は50億円となる見込みです。

なお、期末配当予想(1株あたり：0円)の修正はございません。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上